

まつど未来シナリオ会議 振り返りシート

『2030年の日本における私たちの暮らし』の未来シナリオづくりをとおして、気づいたこと、考えたこと、学んだこと等

<市民メンバー>

- ・技術は進み、ハードな面での住みやすさはある反面、人のつながりが減る、つながりをあえてつくらなければいけないといった様な世の中をあらためて考えた。また、進化が“考える”ということをしなくなり、災害時やいざという時に、自ら考えて行動する力がうすれてしまう気がした。時代の進化を受け入れ、便利を活用しつつ、人と人とのつながりを大切にしていくことを忘れず、受容し認め合えるようになっていきたいと思いました。
- ・市役所の皆さんをはじめとして、様々な職業、肩書きの人たちが感じている課題や価値観を知ることができました。
- ・自分自身が普段考えている世界観（大切にしたいこと）を思っていたよりも多くの人が共通している一方、先入観になっていることにも気づけました。
- ・立場や役割など違うと意見が違い、様々な角度、面から学びを深めることができました。違う視点で物事を考えることで、今まで知らなかったことを知り、見えなかったものが見えるようになる。
- ・多種多様な視点、モノの考え方をワークの中で体感。行政、市民のそれぞれの役割を改めて再構築する段階であることを痛感しました。
- ・松戸市役所には本当に素敵で職員の方々がかんなにたくさんいるのだということが非常にうれしく心強かったです。また、どんな時代になっても人とのつながりが大きな意味を持つこと、技術を使いこなすリテラシーを持つことを再認識できました。
- ・変化に対して変わらなければリスク、先んじて変わればチャンス。
- ・多様なステークホルダーとつながることの大切さを再認識した。
- ・自分の事しか考えていなかったな～と気づいた。皆さんの意見を聞いてみて、もっと松戸を知ろう！
- ・自分の生活に密着している（と感じている）身の回りのことに精いっぱい、勉強不足なものがたくさんあるなと感じた4日間でした。今まで考えたことなかった再生エネルギーやIT化など関係ないと思っても自分や子どもの生活や未来につながっているな。もっと勉強したりアンテナを高くしていきたいです。
- ・現時点でも自分の思う以上に技術・制度は進んでいる点に気づかされた。自分でもアンテナをのばして情報を取り込まなければならないと思った。
- ・仕事柄、今目の前にある問題を解決することはよくあっても、長期的な未来のことを考えることはほとんどない。未来は多様であり、それに対する対応もまた多様なのだと考えた4日間だった。
- ・10年後の未来はあまり考えたことがなかったので、とてもいい機会でした。
- ・今までは、松戸国際文化大使としてベトナムの良さを発信する立場でしたが、今回は立場が180度

変わって、松戸市の住民として松戸の未来を考えられたことが私にとってとても新鮮な体験となりました。

- なかなか普段の生活の中で、10年後を考えることがないなかで、今回はとてもいい機会を与えて頂きました。日本の未来、松戸の未来は、私の未来なのだということも4回の会議を通じて一番感じました。便利になることだけが幸せではないと改めて考えさせられました。
- 10年後の世の中、また松戸市のこと、現状を見つめた上で考えることができました。特に、技術革新や少子高齢化や外国人人口の増加など、今から考えるべき課題が具体化したことがよかったです。
- 松戸の良さ、松戸らしさの再発見と再認識。
- 松戸の未来について、ネガティブな事ばかり思いついてしまいますが、逆にチャンスになる事にも気づかされました。また、松戸にはポテンシャルが多くある事を再発見でき、まだまだ可能性があることにも気づきました。
- 未来はいくつもある。
- ITが苦手という人たちに対する自分の攻撃性に気づいた。多様性として受け入れなければいけない、そうゆう未来を考えるようになった。
- 想定外のことに目を向け、そのことにも今から取り組むことがあること。どんな未来でも今の延長線だと感じられたこと。
- 多様な人が意見を出し合うことの大切さ。それぞれがそれぞれの発想・意見を持っている。人の意見をまず受け入れることの大切さ。専門性を持つことの大切さ。未来に希望が持てる気がしました。
- いろいろな視点を持って物事を考える訓練になった。考えてもみなかったこと、気づきもしなかったご意見と出会うことが出来て毎回新鮮な気持ちになりました。
- 始めは明るい未来を描けなかったが、今回のシナリオづくりで、どんなこともリスクは背負うがチャンスにもなるという思考力がつき、明るい未来に期待できました。このようなグループ討議の方が自由で素晴らしい意見が出ることを実感しました。
- 10年後を考えたことはなかった。考えるだけでもいい機会になった。どんな未来でも子どもが主役。
- それぞれの生活環境や立場、仕事によって問題意識もアイデアも違う。でもそれこそが街づくりの基本だと思いました。多種多様な人たちが個性を発揮し、問題解決に取り組むきっかけが見えた気がします。人のせいにしなくて今自分ができることをやっていくことが重要だと感じました。

<職員メンバー>

- すべてのシナリオでネットリテラシーや英語教育など『教育』が取り組むべきものとして挙げられました。未来を考えるにあたっては、子ども達に明るい未来・希望があることを伝えるのが大事だと思いました。
- グループのまとめでは、異文化、世代を超えた交流、学習機会の推進が大切だという結論に至った。他のグループとの議論においても、多様性の受容が大事である点で考え方が一致していたので松戸市のやさシティとしての理念が私たちに浸透していると感じた。

- ・様々な種類の職業、立場の方々と共に取り組んだが、本当に自分の知らないことがたくさんあり、様々な視点で気づきを得ることが出来た。普段の生活であまり考えることがない『10年後』について、時間をかけてじっくり考える大変貴重な機会であった。
- ・技術が発展していくこと、多様な社会になっていくことに対して、思っていた以上にリスクが挙げられたことが意外だった。現状から変化することに対してリスクを洗い出して課題を考えることの重要性が実感できた。
- ・未来について、ここまで考えた場は初めてでした。良いも悪いも、未来を形作るのは自分であり関わる人々、すなわち全員だと思います。現状分析からニーズ、取り組むべきことを考え、非常に視野が広がりました。
- ・自分の身の回りで起こっていることや仕事でも、現状を把握（ニーズ、問題点）することは重要だと再認識した。現状の課題や問題点、今後の松戸について考え、議論するためにも、自分に関わる業務の知識だけでなく、広い分野の情報・知識を身に付ける必要があると感じた。
- ・いろいろな視点が盛り込まれ、自分でも気づかない考えをたくさん知ることが出来た。少子高齢など暗いイメージが先行しがちだったが、明るい未来に向けて、仕事や家族などモチベーションが向上した。
- ・社会状況は日々変化していくので、社会・市民のニーズに合った事業を考え、常にニーズをキャッチしていきたいと思った。
- ・2030年の日本を考える機会は今まであまりなく、また考えても暗い未来しか思い描くことができなかったのですが、今回、シナリオプランニングという方法を使って具体的かつ多面的に考えることで明るい面も暗い面もあることに気づき、そうなったときどうしたらいいかを考えることができました。
- ・ある状況におけるチャンスとリスクは表裏一体であるため、物事を過度にマイナスに考える必要はなく、その裏にどういったプラスの要因があるのかを意識して進めていくことが必要であると考えました。
- ・どんな世界にもチャンス・希望はあるということ。
- ・子どもに明るい未来を話してあげることの大切さ、そのために自分が今を楽しんでいること。
- ・一人では行き詰ってしまうことも、いろいろな考えに積極的に触れることで策を考えていけること。
- ・10年後を想定し、各分野の人たちとコミュニケーションを取れたことで、自分を見直すところが分かり、とても充実していた。
- ・一方的な決めつけ、思い込みは、新しく革新的な発想を抑え込んでしまうので気をつけたいと思った。
- ・日々の生活では、現状を当たり前と思すぎて、こうなってほしい、こうなったら怖い、と考えることはほとんどありませんでした。この10数年間でも時代が大きく変わったと思うので、今から10年先の未来を見据えながら行動していきたいと考えました。
- ・ベースシナリオのとおり、すべてのシナリオで高齢者が増加していく。そのため、高齢者支援課としての業務はこれから大変重要な位置付けになると気づいた。また、高齢者が増えることをリスクとして捉えてしまっていたが、チャンスとして捉えることも大切ということが分かった。未来を考える際に、自分からの視点だけでなく、様々な立場の方の視点に立つということを今後も意識したい。

- ・松戸市で働いて、住んで、仕事にも毎日一生懸命取り組んでいたつもりでしたが、10年先の松戸市を考えてくださいと言われたときに、こんなにも何も思いつかないものなのか、と思いました。一方で、同じ松戸市を見て、こんなにも多様な考えが出され、それを知ることができたのは、貴重な機会を得られたと思いますし、今後の自分自身のチャンスにしたいと思います。
- ・10年後の未来の日本、松戸市を考えることが一見難しいと感じていましたが、このような場で多分野に詳しい方々を交えて議論すれば、ストーリーが作れるのかと実感できました。10年後は遠すぎる未来ではないので、可能性と実現性を見極めやすいと考えました。
- ・未来を考える上で、まずは現状分析（知識）が必要だということ。今後は自身のアンテナを高めて、何事にも関心を持って行きたい。自分と違った立場の方との意見交換では自身と全く違う観点での意見が聞けて面白い。
- ・現状でも、中国・フィリピン・ベトナム等の在留外国人の方が居住している松戸市においては、かなり高い確率で、外国人の方がどのシナリオでも流入すると感じた。その理由として、家族やコミュニティを大切にする文化であり、集まってくる可能性が高いため。
- ・現役で働く世代の市民の方と話し合ったことで、様々な観点の意見を聞くことができ、いろいろな視点で物事を捉え考えることができました。
- ・今後、人口減少、高齢化、外国人の流入、空き家の増加等、今まで経験したことのない社会を迎えるにあたって、多様性の受容がとてもキーポイントになると思いました。そのために、民間と行政の連携や、松戸市として魅力ある街を発信できるアピールポイント、発信方法をもっと探さねばならないと深く感じました。また、個人としても、助け合いの精神がとても大切だと感じ、今後は近所づきあいの方法も見直さなければならぬと思いました。
- ・様々な未来シナリオが想定されるが、それに対する対応が市としては出来ていないと考えられ、今後その想定を行っていくことが必要だと感じた。
- ・未来のシナリオを想像するときに、これは良い・悪いという判断を保留して考えることが必要。自分自身は無意識に判断してしまっていたと気づいた。先入観を持たないようにしたい。
- ・自分ひとりでは出てこない発想を話し合いの中で聞くことができ、とても貴重な経験ができた。特に、物事を一方の面からではなく、様々な視点から見ること、リスクをチャンスと捉えるなど、思考が柔軟になった。
- ・将来に対する憂いに備えるプランが導かれると考えていたが、憂いを強く感じながらも明るい将来像を持っている方が多く、自分の考えと異なる考えに触れられる良い機会となりました。
- ・想定外のことから考える、未来を起点に考える、多様な立場の人で考えるというやり方はとても参考になりました。すごく考えさせられました。
- ・市民メンバーと話すことで、つい行政目線で考えてしまうところに、新鮮な風を入れてもらえたと思う。
- ・4つのシナリオを展開させることで、どれでも起こり得る世界をシミュレーションして備えることが出来る。
- ・今、自分が行っている仕事や現在の問題・課題に対することが多く、未来を考えた時に、まだまだやれ

ること、やっておかなくてはダメなことが多いことに気がついた。

- ・どんな事柄であっても、リスクにもなるしチャンスにもなるということ。従って、一方的な考え方をすべきではないということ。
- ・戦略を練るにあたっては、外部環境要因が極めて重要であるということ。
- ・不確実な要素を考えることで、視野が広がりました。不確実なシナリオを考え、アウトプットし、そのシナリオの際でも現状の策は対応可能か？を考えるのはとても労力が必要ですが、重要だと思いました。

未来シナリオづくりをとおして、今後、松戸市において取り組んでいきたいと思うこと

＜市民メンバー＞

- ・制度からはずれている人たちへの支援を進め、こぼれおちてしまうことのないような体勢づくりをしたいと思います。これは、家庭問題、犯罪、ひきこもり、高齢問題に対応する大切な部分だと思います。
- ・行政内のいろいろな部署の人と話す機会をつくりたいと思いました。民間のネットワークと行政をつなぐ中間的な立場として、未来に向けての備えをしていきたいと思います。
- ・未来について希望を持って子どもたちが生きていけるよう、まずは大人（保育士）が未来について学び希望を持ち、日々の生活の中で子ども達に伝えていき、10年、15年後、子ども達が多様化、多文化の時代を生き抜いていけるよう関わっていきたくと思いました。
- ・継続的な対話、ワーク（コミュニケーション）の場を創出してほしい。
- ・今日のような場をフューチャーセンター等も利用してつくりたい。『フォロワー』となるような人財の育成もしていきたい。
- ・対話のスキルの勉強会の開催。
- ・大学と松戸市及び松戸市民との多角的な連携。
- ・松戸市のシティプロモーション“やさしい暮らしラボ”のメンバーとして、今回のシナリオづくりで皆さんとお話したことをいかしつつ、自分のできる小さなアクションからでも魅力を発信していくことをもっと積極的に行っていきたいです。
- ・消防団という形で松戸市の機関には関わっているが、その他にも地元の自治会等に関わっていききたい。
- ・どのような未来になるにせよ、社会が今よりも複雑化することは間違いないと思った。弁護士として、市役所を含む市内各機関と連携していきたいと考える。
- ・現在、多くのボランティアに携わっていますが、今後も続けていく勇気を頂きました。
- ・今回の話し合いを通じて、外国から移り住む人の重要性が認識されました。この中には、外国人が増えることへのネガティブな意見も出されました。ネガティブな面を少しでも減らすため、何をしたらいいのかということを考えていきたいと思っています。
- ・私は幼稚園教諭として仕事をしているので、子ども達そして若い親御さん達の今を目の当たりにしています。今よりもっと子育てが楽しくなるような教育環境を目指して出来ることがまだまだたくさんあると思

い知らされました。本当の意味での『子育てしやすい街松戸』になるよう、支援・教育に取り組んでいきます。

- ・生産年齢人口の増加、特に子ども達が安全に楽しく暮らせ、一生住み続けたいと思えるまちづくりをしていきたい。
- ・再生エネルギーの活性化の政策推進。
- ・森林活動などのボランティア活動。
- ・松戸の魅力をもっと上手に PR してほしい。松戸はこう進むんだ！というもっと明確な目標を示してほしい。
- ・まだまだ考えること、やらなければならないことがある。ある意味ビジネスチャンス。
- ・消防団員として、今回学んだシナリオづくりを活かして、未来に備えた活動ができればと思います。地域に密着しているからこそできる事を見つけたいと思います。
- ・魅力的な景観づくりの活動。
- ・英語を活かした外国人とのコミュニケーション。
- ・健康推進員として健康づくり活動に取り組んでいますが、まだまだ松戸市の取り組みについて知らなかったことがたくさんあるので、勉強したことを周囲に伝えていける存在でいられるようになりたい。
- ・健康づくりと仲間づくり、親子の場を作って広めていきたい。
- ・いろいろな場、イベントに出て、いろいろな立場の人とコミュニケーションを取りたい。今まず自分が出来るのは外国人との橋渡しなので、ホームステイに来た外国人の方に松戸の魅力を伝えたいと思います。
- ・どのシナリオになっても、人と人とのつながりは無くしてはならないと再認識しました。コミュニティ、サードプレイスの重要性に団体として取組み、個人としては一人ひとりに寄り添ってそれぞれの役割を自己認識できるサポートをしていきたいと思います。『あなたはそこにいるだけで救われる人がいる』と伝えたいです。

<職員メンバー>

- ・どのシナリオになっても必要となる、子どもだけでなく大人への教育。
- ・高齢者、障害者、外国人に対する偏見をなくすためには、子どものころからお互いに交流する機会が大切である。またIT化、AIの普及について大人でもしっかりと学習を継続しなければ最新の技術を使いこなせるようにならない。このため、職員も市民との交流を深め、立場の違う人に思いをはせながら、相手を理解する活動の重要性を感じた。
- ・仕事や私生活等において、未来のことについて計画するときに、今回の手法を、ここまで大規模ではないにしても活用する機会があればと思う。
- ・何もなくても技術発展は進み、社会は多様化していくと思う。今回考えたどのシナリオになっても、問題点は出てくると思うが、松戸市としてどのシナリオに進みたいのかを決めておくことが大切だと感じた。
- ・今後は、会議で学んだことを活かし、様々な人々の意見を聞き、行政施策にフィードバックできればと

思いました。

- ・市民・事業者の多くの方の意見を聞く機会をつくり、ニーズを把握し、今後の業務に取り組んでいきたい。
- ・所属の業務を推進することが前提だが、このようないろいろな立場の方々と意見交換・交流することは刺激になるのでまた参加したい。
- ・なんでも話せる場はやはり必要とされていると感じたので、少しでもそのような活動に協力していきたい。
- ・今回、いろいろな職業や立場の人の話を聞くことで、今まで知らなかったイベントや取り組みを知ることができたので、今後もアンテナを高くし、情報収集していきたい。
- ・何もしないと10年後、20年後は不安要素が多数出てきそうなので、いまから10年20年先を見越した考え方を持とうと思いました。
- ・どんな知識がいつ役に立つかわからないので、常にアンテナを張っていること。
- ・ごみ行政は、時代の変化には敏感であるため、10年先を見据えた計画を持って業務に取り組む必要があると感じました。
- ・電車を乗り継いででも行きたいと思える魅力的な街づくり。
- ・高齢者関係の事業について、10年先を考え、何の目的で行うかを考える意識を持つ。
- ・松戸市の魅力を探し、PRすること。
- ・計画を策定するにあたっての会議ではありましたが、松戸市の行政として市民の方との交流はあった方が良いと思います。
- ・人口の減少を少しでも止めるべく、市のPRとして決め手になるものに注力した方が良いのだろうか？と考えました。
- ・常に未来を考えて業務に臨む。
- ・外国人の住みやすい街づくりが重要と言う意見が多かったので、自身も英語等少しでも関われる努力が必要と感じた。
- ・どのシナリオでも共通することで、松戸市においてチャンスになることについては、前もって取組んで置くべき。
- ・外国人を受容や新技術の利活用について、行政職員としてどのように対応していくか、今後の課題として受け止めていきたいと思います。
- ・行政だけで話し合うのではなく、民間の方の考えはとても重要だと感じました。そのため、計画立案の際はこういった打合せを積極的に取り入れてほしいと思いました。
- ・子どもたちが希望を持てる環境づくり。
- ・今回のシナリオづくりにおいて出されたニーズについて、将来的に職務上果たせていけそうなものもあり、常に未来に対するニーズ意識を持って行きたいと思います。
- ・社会教育計画策定の際、市民参加型や未来志向等を取り入れたいと思います。

- ・教育行政のシナリオづくりをしてみたい。
- ・防災について再度考え直したい。様々なケースに分類したリアルなリスクを想定し、将来の市民が助かるようにしたい。
- ・今後、ニーズがますます多様化することが想定されるため、現状の縦割りを改善し、住民一人ひとりのニーズを包括的に把握するワンストップ窓口が必要になると思う。
- ・ベースシナリオには確実に対応できるよう、部局の施策に活かしたい。

会議に参加した感想等

<市民メンバー>

- ・行政の方々と席を同じくして一つの目的に向かって考える事が少ないので、大変ありがたい時間でした。
- ・それぞれの専門の分野、違う立場の人からの意見がとても新鮮で、もっと視野を広げて考えることを続けていきたいと思いました。
- ・普段、思考しない軸や尺度、視点でじっくり考える時間が持ててよかったです。自分の価値観や視点に左右されすぎないシナリオプランニングの手法が良いと思いました。
- ・有能なパーソンと有意義なワークが行えました。ありがとうございました。
- ・4回本当にありがとうございました！同じ班の皆さん、この場を作ってくださった行政の皆さん、そしてファシリテーターの皆さん、貴重な場を改めて本当にありがとうございます。これからの松戸のために出来ることを主体的にやっていきます！
- ・市民と行政のワークショップは新鮮でした。協働事業を一緒に考えられるようになったら素晴らしいと思いました。
- ・様々なファシリテーションを見てきたが、シナリオプランニングは初めてだったので勉強になった。とくにアイデアの収束のさせ方など。
- ・有意義でした。ありがとうございました。
- ・この先の未来のことをたくさんの可能性の切り口から考えていくことが難しくも楽しい時間でした。4回を通して一緒に班だった皆さんともステキなご縁につながり嬉しいです。お声掛けいただき本当にありがとうございました！
- ・いろいろな職業、立場の方と交流でき、とても新鮮でした。このような機会がもう少し増えてほしいと思いました。
- ・新しい出会いに感謝しています。ありがとうございました。
- ・新鮮な体験となりました。
- ・充実した4時間×4回でした。ここまで松戸の未来について松戸愛あふれるの方々とじっくりお話したことがなかったので、とても楽しく有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ・市民と行政が腹を割って未来を語る事が出来たのは良かったです。今回の皆さんとの関係を街と事

業、会社の発展に活かせればと思います。

- ・シナリオプランニングの手法を勉強させていただきありがとうございました。
- ・普段、他業種、行政とディスカッションする機会がないので、今回はいろいろな考え方、価値観、松戸に対する情熱を知ることが出来たのはとても楽しかったです。またこのような機会があれば是非参加したいと思いました。
- ・自分と松戸市の取り組みを進めることの意義を感じることが出来ました。
- ・参加でき光栄でした。今回だけではなく、場を設定して、今回のようなディスカッションを出来る機会を持続してほしいです。行政は『リーダー』ではなく『フォロワー』であって、伴走者であってほしいです。
- ・大変興味深い手法を学ぶことができました。
- ・たくさんの市民活動に力を入れる方々との出会いが嬉しかったです。
- ・もっと堅苦しいかと思っていましたが、自由で意見しやすかったし、松戸に住むいろいろな人と出会えたので楽しかったです。
- ・素晴らしい人材、団体が松戸には集まっています。そんな人たちが横のつながりをつくり助けあってサポートをつなげていくことが大切だと思っています。今回、そのきっかけをいただけて大変うれしかったです。ありがとうございました。

<職員メンバー>

- ・いろいろな方々と話ができて、自分ではできない発想等を聞いたのがよかったです。
- ・将来の正確なベースシナリオを基に、様々なリスク・チャンスを想定しながらニーズに応える取組みを行っていくことは今後も続けていきたい。また、今後もメンバーとの交流を継続していきたい。全体で集まる機会があればより良い取組みが出来ると思う。
- ・市民の方々とチームを組んで将来の松戸を考えるという作業は、今後の業務を遂行するうえでも大変貴重な経験であったと感じる。
- ・今までにないクリエイティブで有意義な会議でした。
- ・有意義な時間を作って頂きありがとうございました。今回つながった縁を大切にしていきたいと思えます。
- ・積極的な方が多く、議論がスムーズに進みました。最後に視聴した動画が印象的で、自分も積極的な『フォロワー』を目指したい。(リーダーに追従する最初のフォロワーが重要)
- ・いろいろな立場・職業の方と関わることができて、とても有意義でした。
- ・職員だけでなく、いろいろな立場の人と一緒にワークをして考え方も理解度も物の見方も全然違うのだということを実感することができました。今後はもっといろいろな人の立場に立って物事を考えられるようになりたいです。
- ・松戸の未来を市民の方々と一緒に考えるという貴重な場でした。これからの役所人生においても役立つことがありそうです。

- ・素敵なグループで会議が出来て良い経験になりました。
- ・市民の方と交流できたことが非常に貴重な経験となり、とても助けられました。ファシリテーターの方々の出会いにも感謝しています。
- ・市の職員だけで行った際よりも、様々な観点で議論することができ、毎回とても刺激になりました。時間が過ぎるのがとても早く、もう少し時間をかけたいと思いました。
- ・様々な業種の方と交流できて、とても新鮮でした。貴重な機会をありがとうございました。
- ・昨年度の研修から参加しましたが、シナリオプランニングでは、知識の量、メンバーの意見をくみ取り、場の調和を保つなど、多くの役割を果たしながら、1つの道筋をつくることが実感できました。貴重な経験だったと思います。
- ・多様な職種の方と話すことで、新たな発見や自身の新たな発想が生まれることが多くあった。業務で行き詰ったときには、他の立場の職員に積極的に助言を求めることを意識したい。
- ・業務上あまり関わることのない方との接触は大変新鮮に感じました。今後ともこのような機会があれば是非参加していきたいと思いました。
- ・どんな社会になろうと、行政として市民の方の見方になる立場は変わらないので、そのために個人として今後どのような振る舞いをしていけばよいのか、少しわかったような気がしました。ありがとうございました。
- ・市民や他課の方とのワークはとても刺激になりました。
- ・市民メンバーの皆さんとフラットな話し合いが出来て有意義な時間、また、素晴らしいメンバーに会えたと思います。ありがとうございました。
- ・市民の方とフラットに話し合える貴重な場だった。このような機会は、職員にとっては市民の意見を職務に関係なく聞けることや、市民にとっては職員がやっていることを理解する機会になると思うので、継続できたら良いと思います。
- ・様々な立場の方と議論し、生の声、ニーズを聞いたことは、市役所の人間としてプラスになったと思う。ありがとうございました。
- ・たくさんの方々と知り合うことができ、とても有意義な場となりました。